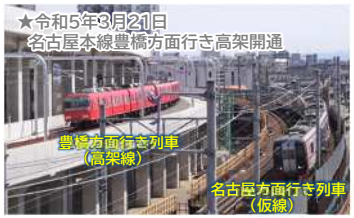
知立駅周辺整備事業の概要

2026（令和8）年9月18日時点

1 知立駅付近連続立体交差事業



1） 事業の概要
(1)事業主体　　：愛知県
(2)事業費　　：約995億円　（市費149億円）
(3)施行期間　　：2000 (平成12) 年度～2031 (令和13) 年度
(4)事業区間延長　：L＝4,980m(第1期施工)
(4) 事業区間延長(第1（本線L=1,560m 三河線 碧南方L=1,540m 豊田方L=1,880m）
(5)踏切除却数　　：10箇所
(6)立体交差箇所　：都市計画道路11路線(新設含む)を含め26箇所





2 知立駅周辺土地区画整理事業



1） 事業の概要
(1)施行者　　：知立市
(2)事業期間　：1999 (平成11) 年度～2033 (令和15) 年度
(3)事業面積　：13.3ha
(4)事業費　　：224億円（国県費77億円　市費118億円　連立負担29億円）
(5)減歩率　　：23.08%　（実質減歩率 12.37%＝減価買収後）
(6)公共施設整備　①都市計画道路　　8路線　W＝12～30m　L＝1,690m
②区画道路　W＝ 6～12m　L＝1,780m
③広場等　駅前広場 7,200㎡　　公園 2箇所 8,500㎡
(7)建物移転　：移転対象 250棟（地区内建物275棟）　移転率90.9%
2） 進捗状況　※2025 (令和7) 年度末
(1)実施状況　・減価買収11,870㎡　2004 (平成16) 年度完了
・仮換地指定　2006 (平成18) 年7月済
(2)進捗率　　・事業費ベース　約82.7%実施済　・建物移転　約93%（231件済）
3） 事業の特色
(1)連続立体交差事業との同調施行
(2)再区画整理
(3)減価買収地区（寺院,墓地の地区外移転）
(4)住民による「まちづくり研究活動」　①地区計画による土地利用の誘導
②再開発事業など共同化事業の推進

3 知立駅北地区市街地再開発事業





1） 事業の概要
(1)施行者　　：知立駅北地区市街地再開発組合
(2)事業場所　：知立市栄1丁目地内
(3)地区面積　：施行面積　3,222㎡　　建築敷地面積　3,222㎡
(4)事業期間　：2013 (平成25) 年度～2019 (令和元) 年度
(5)事業費　　：約52億円（補助金 国費約6.7億円 県費約3.4億円 市費約3.5億円）
(6)組合員数　：19名（組合員18名＋参加組合員1名）(参加組合員：名鉄不動産㈱)
(7)計画概要　：①建築計画 地上21階（建築面積　2,475㎡・延床面積　18,012㎡）
②用途　　・住宅棟　：1～2階－店舗　3階－設備ﾋﾟｯﾄ
4～21階－住宅（107戸）
・駐車場棟：1階－店舗　2～5階,R階－駐車場（200台）
・別棟　　：1～2階－店舗
(8) 都市計画決定　：2013 (平成25) 年3月
(9) 組合設立認可　：2014 (平成26) 年12月
(10)権利変換期日　：2016 (平成28) 年4月
(11)再開発ビル建築工事 竣工　：2019 (平成31) 年1月
(12)組合解散認可　：2019 (令和元) 年12月
2） 事業の特色
・知立駅周辺土地区画整理事業の地区内で
区画整理と一体的施行
・区画整理の仮換地により共同化希望者を集約換地

建物愛称・ロゴ

4 (仮称)知立西新地地区市街地再開発事業

（事業化検討地区）



1）知立西新地地区の概要
・駅周辺の道路や公園と一体となった、市の「顔」にふさわしい駅前空間の形成が期待される
・狭あい道路が通り、非耐火建物が老朽化・密集しており、防災性が脆弱
・市営駅前駐車場（246台）のある市有地の有効活用
・2023 (令和5) 年7月に準備組合を設立
・2024 (令和6) 年2月に特定業務代行者等を決定
・2025 (令和7) 年3月に都市計画決定
2）開発コンセプト
・にぎわいが感じられる「生活利便・文化交流拠点」
3）まちづくりの方向性
・まちなか居住の推進と良好な都市型住宅の供給
・駅利用者や市民ニーズに合わせた生活利便施設の導入
・交流を育むにぎわい空間の演出
・商店街や駅南北の回遊を誘導する仕組みづくり
4）特定業務代行者等の決定
・代表企業：トヨタホーム㈱
・構成員　：スターツCAM㈱、㈱ＩＡＯ竹田設計、ミサワホーム㈱、スターツコーポレーション㈱、JR西日本プロティーズ㈱、住友不動産㈱
5）施設計画の概要
・分譲住宅棟
28階建　分譲住宅（297戸）、タワーパーキング（86台）、店舗
・商業・公益・賃貸住宅棟
12階建て　商業施設（店舗）、公益施設、賃貸住宅（68戸）
・駐車場棟　5層6段　駐車場（431台）

